

一期一会



R 7. 5. 1 4

交通安全調査の実施 ～ヒヤリハット体験から学ぶ～

全校で「交通安全調査」を行いました。重大な事故にはいたらないものの、そうならってもおかしくない一歩手前で「ヒヤリとしたり、ハッとしたりした時の体験」を思い出してもらいました。今後、交通事故に遭わないために今回の情報を参考にしてほしいです。（裏に場所を示しています。昨年度と同じようなところが危険個所となっています。）



【ヒヤリハット体験】

- ・横断歩道を渡っている途中で、車が結構なスピードで来てぶつかりそうになった。
- ・十字路で、車が近づいてきていることに気付かずぶつかりそうになった。
- ・横断歩道で待っている時、止まってくれる車もあるが止まらずスピードを出してくる車がいて危ない。
- ・住宅地のＴ字路は見えづらいところがあり、車が来ているか分からず危ない。
- ・イオンの駐車場の入り口から急に出てくる車が危ない。
- ・信号がない曲がり角で、車が勢いよく出てきてぶつかりそうになった。
- ・坂道を自転車で走っていると、思っている以上にスピードが出て危ない。
- ・友達と話に夢中になって歩いていたら、曲がり角から車が出てきてぶつかりそうになった。
- ・高い木があって、少し前に出ないと車が確認できないＴ字路があって危ない。
- ・雨の後、自転車で左に曲がろうとしたら、歩道のタイルが濡れていて滑って危なかった。

《 注意すべき場所・行動 》

- 狭い道を広がって歩く
- 信号のない交差点を渡る
- 雨の日の後の横断歩道やタイルの上を通る
- 自転車で、坂道をブレーキをかけずに下る
- 自転車で、横断歩道を降りずにスピードを出したまま渡る
- 十字路やＴ字路など、車の様子が見づらいところを通る
- 商業施設などの出入り口



重要!

交通事故は、人的要因（危険な行動・不安定な心身の状態・判断ミスや操作ミス・考え事などによる注意力の低下など）、車両的要因（ブレーキの整備不良など）環境的要因（道路状況・自然の悪条件など）が関わって起こります。交通法規を守るだけでなく、周囲の状況から危険を予測し、事故を回避できる力を付けましょう。